

2018 年度 事業報告

(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日)

■会 員 (2019 年 3 月 31 日現在)

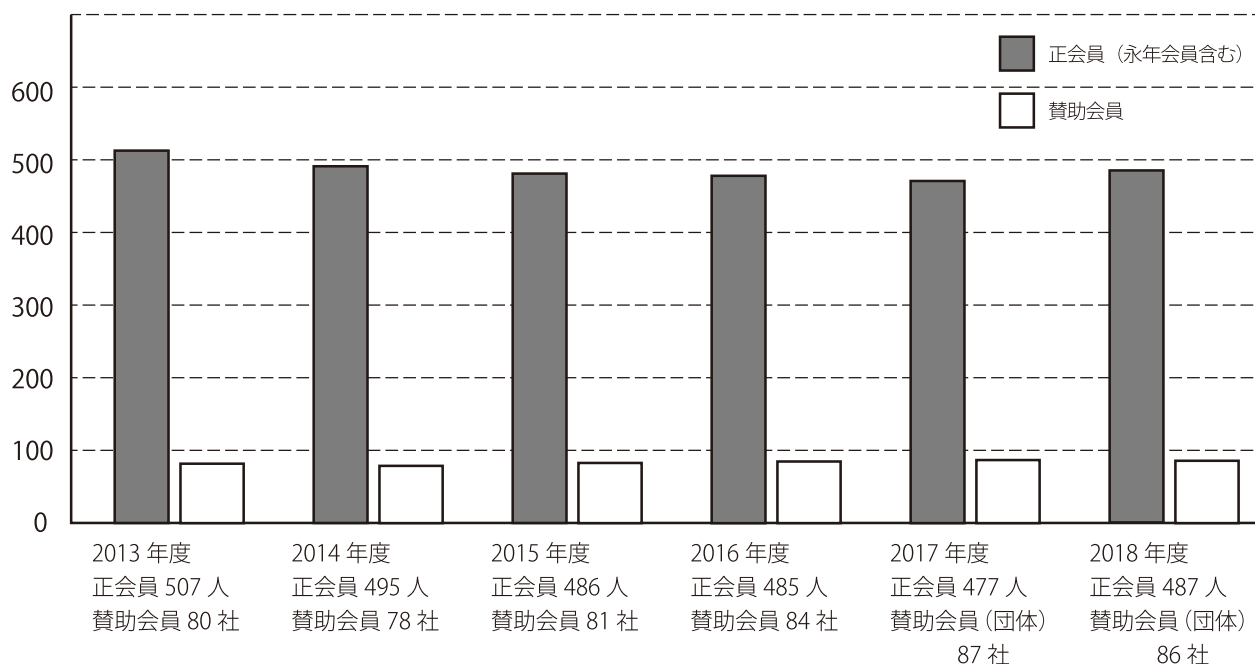
正会員 487 名 (フリーランス 378 名、インハウス 38 名、団体・学校 71 名)

〔内 永年会員 110 名、入会 23 名、退会 17 名、死亡 3 名、休会より正会員へ復帰 1 名、正会員から休会へ移行 1 名、準会員から正会員へ移行 7 名〕

賛助会員 (団体) 86 社 179 口 (入会 5 社、退会 6 社)、賛助会員 (個人) 9 名

準会員 5 名、学生会員 14 名

会員数の推移



■会 議

1. 総 会

1) 定時総会

2018 年 6 月 2 日 (土) 午後 2 時 30 分～3 時 17 分、SEMBA10 プレースにおいて第 50 回定時総会を開き、下記議案を議決した。

第 1 号議案 2017 年度事業報告及び収支決算の件

第 2 号議案 JIDA 基金取り崩しの件

2) 臨時総会

2018 年 10 月 5 日 (金) 午後 5 時 00 分～5 時 15 分、JIDA ギャラリーにおいて臨時総会を開き、下記議案を議決した。

第 1 号議案 役員規程改定案の件

2. ブロック総会

2018 年度、下記の会場において開かれた。

東日本ブロック：2018 年 6 月 16 日 会場 AXIS ギャラリー

中 部ブロック：2018 年 6 月 16 日 会場 国際デザインセンター デザインラボ 10

北 陸ブロック：2018 年 6 月 30 日 会場 金沢美術工芸大学

関 西ブロック：2018 年 6 月 2 日 会場 SEMBA10 プレース

西日本ブロック：2018 年 8 月 21 日 会場 ひろしま美術研究所

3. 理 事 会

以下の件について議決、検討、審議、報告を行なった。

みなし（メール）理事会（4/20）入会承認の件

みなし（メール）理事会（5/8）2017 年度事業報告および決算（案）の件

みなし（メール）理事会（5/11）JIDA 基金取り崩しの件

第 1 回理事会（6/2 大阪）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、デザインミュージアムセレクション VOL.20 選定委員について、定時総会への対応について（案）の件、JIDA 寄付金新設の件、委員会・エリア活動報告、事務局諸報告

第 2 回理事会（7/28 TV 会議）

入会審査と承認、準会員（旧会友）会員種別変更承認の件、寄付金新設の件、DIA Design tour Japan 受託企画の件、財務分析の件、委員会・エリア活動報告、事務局諸報告

第 3 回理事会（10/20 TV 会議）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、役員選挙規則改定案、選挙管理委員会運営の手引き改定案の件、「運営会」「アドバイザーコミッティ」設立提案の件、2019～20 年度役員選挙管理委員会委員候補の件、職務執行の費用及び報酬規則改定案の件、賛助企業の理事会参画等の権利拡大について、委員会・エリア活動報告、事務局諸報告

みなし（メール）理事会（11/27）

役員選挙規則及び選挙管理委員会運営の手引き改定案の件

第 4 回理事会（12/8 東京）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、2019 年度予算の件、委員会・エリア活動報告

第 5 回理事会（2/16 東京）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、役員の利益相反取引の件、2018 年度永年会員の件、2019 年度予算の件、デザインミュージアム委員会 2 委員会体制への変更について、JIDA ギャラリースペースの有効利用について、委員会活動の交通費と報酬・理事会交通費について、委員会・エリア活動報告、事務局諸報告

みなし（メール）理事会（2019/3/7）

2019 年度事業計画・収支予算（案）の件、資金調達及び設備投資の見込について

理事会出欠状況

●出席回数（ ）内は出席回数

理事：田中一雄（5）	御園秀一（5）	入江あずさ（4）	上田幸和（5）	黄ロビン（5）
佐藤敏明（5）	佐野 正（5）	関本隆次（5）	平川真紀（5）	藤本英子（5）
弥中敏和（4）	山口正幸（5）	山田晃三（5）		
監事：浅香 嵩（5）	長谷高史（4）			

●欠席回数（ ）内は欠席回数

理事：田中一雄（0）	御園秀一（0）	入江あずさ（1）	上田幸和（0）	黄ロビン（0）
佐藤敏明（0）	佐野 正（0）	関本隆次（0）	平川真紀（0）	藤本英子（0）
弥中敏和（1）	山口正幸（0）	山田晃三（0）		
監事：浅香 嵩（0）	長谷高史（1）			

4. 合同連絡会議

第一回合同連絡会議（7/28 東京）

JIDA 新組織案の件、JIDA の問題点について、職務執行の費用及び報酬規程について、デザインミュージアムセクション 20 周年記念展について、中部ブロックの状況について、北陸ブロックメンバーからの声、関西ブロック報告。

第二回合同連絡会議（12/8 東京）

来年度エリア制廃止に伴う運営上の課題について、予算作成日程の件、DM20 周年記念展覧会・DM セレクション vol.20 展覧会について、中部ブロック、北陸ブロック、関西ブロック、西日本ブロックの各報告。

5. 役員選挙

2019-20 年度役員選挙

2018 年 11 月 7 日 選挙管理委員会発足

2018 年 12 月 13 日 選挙 PR

2019 年 2 月 21 日 投票用パスワード掲載ハガキ、選挙公報・投票用紙発送

2019 年 3 月 12 日 開票

その後 役員候補選出者受諾確認

6. 2018 年度活動概要

■全体総括 理事長：田中一雄

●次なる変化に向けた胎動

JIDA は日本唯一の全国的なインダストリアルデザイナー団体として 65 年を超える活動を続けてきた。センター活動の各委員会においては、「世界の中の日本の JIDA」としてインダストリアルデザイン界全体を見据えて活動している。一方、各地域のエリア及びブロック活動においては、職能団体として「地域ネットワーク」に根差した活動を続けて来た。こうした両面性は、公益社団法人としての価値と同時に、職能性に根差した共益的な価値でもある。実態的にはこの二つの価値が、相互に関連しつつ活動しているが、常に協会活動全体を客観化しつつ行動することが必要であると考えている。

協会の収支は活動の基盤であり、過去に黒字化できなかった年度もあったが、2018 年度は会員各位のご協力により、黒字化を達成することが出来た。以下に 2018 年度の各委員会・ブロック活動を報告する。

<内務委員会>

協会が目的としているところのインダストリアルデザインの普及啓発事業を更に範囲を広げる目的で受託事業を強化する方針を出していた。その成果として海外企業からの受託事業が複数実施されたが、それらの事業運営に於ける公正性、コンプライアンス視点からのサポートに注力した。また、理事定数の変更やそれに伴う役員選挙規則改定が大きな出来事としてあった。

<広報委員会>

昨年の大幅な公式 Web サイトの大幅なリニューアルを受け、その後の安定的な広報活動に注力してきた。特に、公式 Web サイト (<http://www.jida.or.jp>) の運営、JIDA DESIGNERS SHOP の設置運営を行い、会員へのサービス向上に努めた。

<渉外委員会>

昨年に引き続き、多様な渉外交流活動が活発に行われた。特に、中国を中心とした受託事業や、地方自治体（東大阪市）と連携強化にも努め、高い評価を得ることができた。また経年的に実施してきた国際学生ワークショップである ISW 事業を教育委員会に移管する他、WDO 中心とした国際デザインネットワークの充実にも積極的に活動してきた。

<ビジョン委員会>

「JIDA DM セレクション 20 周年記念展 PREMIUM-10 展」の開催、並びに「JIDA フォーラム／インダストリアルデザインのプロフェッショナルリズム」の開催を中心として DM 委員会と連携して活動した。今後は、一定の役割を終えたものとして、新たな活動を検討していく。

<職能委員会>

インダストリアルデザイナーの今日的定義化と、その役割認知および地位向上、デザイン業の事業環境整備を目指して活動している。構成としてはデザイナー業務を支援する「職能部会」と、PD 検定を推進してきた「資格部会」の二本柱として活動している。本委員会においては、昨年同様 PD 検定活動の更なる推進が課題となっており、人的、財務的体制の強化が求められる。

<スタンダード委員会>

過年度に引き続き、セミナー部会では、各種素材や加工技術に関する勉強会を5回実施した。また、サンプル部会では、スタンダードサンプルやキッズデザインツールなどの販売を継続的に実施しているが、本年度においては仕入れ費用が予算を上回る結果となってしまった。また、産総研と消防庁との共同研究活動を引き続き進めた他、日本デザイン学会との連携強化に努めた。

<デザインミュージアム委員会>

ミュージアム事業は今迄に収蔵した製品を年間を通じて東京、長野、大阪にて巡回展、企画展、常設展を実施した。セレクション事業では後世に残すべき優れた製品を収集し、デザインの普及啓発活動を行う事を主に、デザイン図録の発行と毎年1月に開催される AXIS ギャラリーでの展覧会を開催した。本年は特に20周年の記念事業として時代を反映させた製品を選出し「PREMIUM-10」特別記念展を開催した。

<教育委員会>

渉外委員会より引き継がれた、ADA(Asia Designers Assembly) 国際学生デザインワークショップを、韓国・大邱市「慶北デザインセンター (DGDC)」で開催した。また、関東地域と関西地域の二カ所において留学生交流会を実施し、国際デザイン教育の振興に努めた。

<インハウス委員会>

インハウス委員会は、協会全体として賛助会員企業への存在感強化と、価値提供の推進を目指して活動している。中心となるインハウス女性デザイナー研究会は第32期を迎え、本年も充実した活動が行われた。その他、「新興国デザイン思考セミナー」や「欧州カーデザイン NOW」などを開催し、多数の参加を得ることができた。

<東エリア>

最大規模のエリアとしてセンター活動とも連携し、多様なイベント・セミナー運営など活発な活動を行っている。昨年度よりユニット制を敷き、ブロック長のもと十名の運営委員メンバーが研究会活動全体を支援する体制として活動している。主な活動としては「TASKI デザイントーク・デザインビジネス TASK 交流会・ギフトショー参加・Next Eco Design 展など」その他センター活動と連携した活動を行った。

<中エリア>

本年も昨年に引き続き、セミナー、ワークショップ、サロン、交流会を開催するとともに、デザイン大学卒業制作展を訪問し表彰活動を行った。特に、北陸ブロックにおいては、積極的なセミナー展開を実施し会員強化に努めている。

<西エリア>

関西ブロックにおいても、センター委員会と同様に、総務・広報・ミュージアム・スタンダード・教育・職能など委員会を中心に、数多くのセミナー、フォーラム、ワークショップ、サロン、研究会、交流会、見学会などが開催された。西日本ブロックでは、対象地域が広範囲に亘るとともに、会員の高齢化が進む中、引き続き積極的な交流活動を展開した。

＜センター活動＞

●内務委員会 担当理事 / 委員長 山口 正幸

内務委員会は、財務部会・総務部会の2部構成である。2018年度は協会が目的としているところのインダストリアルデザインの普及啓発事業を更に範囲を広げる目的で受託事業を強化する方針を出していた。その成果として海外企業からの受託事業が複数実施されたが、それらの事業運営に於ける公正性、コンプライアンス視点からのサポートに注力した。また、理事定数の変更やそれに伴う役員選挙規則改定が大きな出来事としてあった。

＜総務部会＞ 部会長：伊奈史朗

理事定数および役員選挙制度の見直しに伴い、関係する「役員規程改定」および「役員選挙規則改定」・「選挙管理委員会運営の手引き改定」の検討・理事会への提言、「交通費支給の有り方」（職務執行の費用と報酬に関する規則）の検討・提言など、事務局との連携を密に取りタイムリーな提言を図った。

(1) JIDA 基金規程の見直し 継続検討

(2) 交通費支給について 10月理事会承認

(3) 役員規程改定 10月臨時総会承認 理事定数 13名から 11名へ削減。エリア理事制度の廃止

(4) 役員選挙規則改定、選挙管理委員会運営の手引き改定 12月みなし理事会承認

＜財務部会＞ 部会長：山口正幸

2018年度は受託事業とデザインミュージアム・セレクション事業などが計画を上回ったが、その他は全体的に低調であった。しかしながら周年積立、退職引当なども実施することができた。

●広報委員会 担当理事 / 委員長 藤本 英子

＜情報部会＞ 部会長：塩田英人

- ・公式 Web サイト (<http://www.jida.or.jp>) の運営、JIDA DESIGNERS SHOP の設置運営。JIDA 公式 Web サイトでの、会員向けサービスページで、委員会活動との連携。
- ・JIDA の情報発信メディアとしての Web マガジンの運営と更新。
- ・JIDA 公式 Facebook、を用いた広報活動の継続とメールマガジンの検討。Facebook 会員専用のサービスグループの管理運営

＜出版部会＞ 部会長：藤本英子

- ・JIDA アニュアルレポート 2017-18 の発行。
- ・JIDA 公式プレゼンテーション資料の作成と、広報ツールとしての活用推進。
- ・他媒体での JIDA 発信。季刊誌カーサスタイリング JIDA ページへの記事提供の継続。
- ・会員同士のスムーズでタイムリーな情報交換と、顔の見える関係づくりのため、冊子 Face Letter を作成し、1号を発行。
- ・JIDA アーカイブ資料のデジタル化検討、推進。

●渉外委員会 担当理事 / 委員長 御園 秀一

- ・第2回 World Industrial Design Conference, WIDC (中国杭州市) 参加
4/20-23 JIDA より理事長と担当理事 2名派遣。参加者約 1,000名。
- ・中国 Design Intelligence Award, DIA 受託事業
2/8 日本デザイン製品を JIDA から推薦
5/8 41カ国・地域から 7,721点応募。JIDA 推薦 27点中 銀賞 2、銅賞 1、TOP100 9入賞
- ・東大阪市都市ブランド形成推進受託事業
10/15 公募説明会 東大阪市・参加者 30名。応募企業 9社、検定後の選定 3社。
- ・美的集団デザイン研修受託事業 (中国広州仏山市) 前年度に続き今年度 4回実施
5月 2回、6、7月・各回 20名、最終回約 70名。
- ・TEDA Cup (中国天津市経済開発特区・学生デザイン賞) 協力事業

審査員 1 名派遣・講演。10/11-13：審査会、11/22-24：表彰式。応募作品 8157 点。JIDA 特別賞授与。

- ・ World Eco-Design Conference, WEDC 参加（中国广州、12/13-15）
中国 CIDA 主催。JIDA は担当理事 1 名派遣。30 カ国 1000 人参加。
- ・ Center for Creative Studies, CCS 夏季デザインワークショップ & スケッチセミナー
12/25 AXIS ギャラリー、受講者 70 名。
- ・ クエートスケッチワークショップ受託事業
1/17-20 クエート市 国立図書館。
National Council for Culture, Arts & Letters in the state of Kuwait (NCCAL) 主催。
担当理事と賛助企業デザイナーの 2 名を講師として派遣。受講者 50 名。

●ビジョン委員会 担当理事 / 委員長 山田 晃三

「ビジョン委員会」は、JIDA 設立 60 周年を経て新たに設立された委員会である。またかつての先達による VISION QUEST 活動の流れを受けるものである。これからのインダストリアルデザインの、JIDA の歩むべき方向、態度、姿勢を明らかにすることを目的に、各委員会横断的協議機関としてスタートした。

- ・「JIDA DM セレクション 20 周年記念展 PREMIUM-10 展」の開催
→DM 委員会主催となるこのイベントは、JIDA の 60 年を超える活動の成果であり広報的にも重要な日本デザイン提示のタイミングであった。そのコンセプトの立案と展示デザインについて共同した。
- ・「JIDA フォーラム／インダストリアルデザインのプロフェッショナリズム」の開催
昨年から「インダストリアルデザインのプロフェッショナリズム」へとテーマをシフト、シーズン 2 としてスタートした。

第 2 回 モノとコトの間 ～「家電分野」から思考するデザインの未来～ の開催

- ・ 2018 年 7 月 27 日 六本木ミッドタウン・デザインハブ（日本デザイン振興会）
- ・ 参加人数、約 60 名
- ・ 講演者：有吉司／日立製作所 元デザイン本部長
：宮脇将志／アイリスオーヤマ デザインマネージャー
：本多達也／FUJITSU マーケティング戦略本部
- ・ 進行：蘆澤雄亮／芝浦工業大学

自動車とはその流通形態の違う家電業界のインダストリアルデザインを考察した。家電業界の現状は現代のインダストリアルデザインの縮図である。デザインという言葉は消失させイノベーションへとシフトしたコングロマリット企業と、一般消費者に寄り添うジェネリック家電メーカー、個人の研究テーマから世にない製品を開発する企業環境。めまぐるしい時代の変化のなかに今を見た。

第 3 回 「精密機器領域」～ほんのちょっとした違いに、深淵を見る～

- ・ 2019 年 3 月 7 日 六本木ミッドタウン・デザインハブ（日本デザイン振興会）
- ・ 参加人数、約 35 名
- ・ 講演者：石川慶文／キヤノン 総合デザインセンター長
：石原悠／セイコーインスツル ウォッチデザイングループ
：鈴木辰彦／オリンパス デザインセンター
- ・ 進行：蘆澤雄亮／芝浦工業大学

キヤノン、オリンパス、セイコーと世界に名だたる信頼のブランドを支えるものは何か。緻密を超えたミクロの仕事からモノづくりの哲学が生まれる。この世界がマクロなる判断を必要とする経営者の心を掴むことが可能であると、ここにプロフェッショナリズムの神髄を見ることができた。

●インハウス委員会 担当理事 / 委員長 佐藤 敏明

・新興国デザイン思考セミナー 2018 (11 月 30 日)

異なる業界から集まった若手人材たちが様々な専門性や価値観を持つチームとなって、「レポートだけでは得ることのできない、新興成長市場における深いインサイトの体得」と、「その成果を製品・サービスへと昇華するアイディエーション」に取り組む、約 6 ヶ月間のマルチクライアント型トレーニングプログラム。日産自動車株式会社・河西工業株式会社・株式会社ニコン・トヨタ車体株式会社・株式会社本田技術研究所・株式会社タニタ・株式会社 KDDI 総合研究所・スズキ株式会社のデザイナー、リサーチャー、プランナーなどの若手がベトナム・インドの滞在で実践したアウトプットを紹介した。(参加者：50 名)

・第 32 期インハウス女性研究会成果報告会 (2019 年 3 月 11 日)

今期は研究テーマを「ギフト」とし、社会課題を見据えた三種のアプローチを検討。ワークショップを開催してその可能性を共有した。

①教える：学生へ向けたワークショップ形式のデザインのハウツー本を制作。

②つくる：デザイナーによるモノづくりの実践。社会に対しての問題解決の提案。

③伝える：SNS/WEB を活用した広報活動からインハウスデザイナーの実態を発信。

2019 年度は公益的観点からアウトプット成果を展示・即売会を計画中 (参加者：50 名)

・欧州カーデザイン NOW

～伊・トリノ AIID スポンサーードプロジェクト報告会～ (2019 年 3 月 29 日)

伝統から革新を切り開く欧州のデザイン教育界の先端事例に注目し、イタリア・トリノの大学、IAAD [ISTITUTO D'ARTE APPLICATA E DESIGN] トランスポートエーション学科教授、井上真人氏をお招きし、同校が取り組む、日産自動車、ポルシェ、スズキ、レンジローバーを始めとした最新の企業プロジェクトと教育活動を紹介。

① IAAD の概要紹介 / 夏季企業研修

②「IAAD の企業スポンサーードプロジェクト」

作品紹介～井上真人氏 × サンティッロ・フランチェスコ氏対談

③「欧州共同体 EV プロジェクト WEEVIL」概要紹介 (参加者：62 名)

●職能委員会 担当理事 上田 幸和 / 委員長 堀越 敏晴

<職能部会> 部会長：堀越敏晴

・部会 (隔月開催)

主な討議内容として、①職能委員会ウェブサイトのコンテンツ、発信内容について。

②弁理士会との研究会のあり方、国際包装技術展内パッケージデザインパビリオン (以下 PDP と略) 内での集客策、PR パネルの制作、③職能委員会の委員が固定化していることから、新委員募集の方策と次期委員長候補の検討など。

・日本弁理士会・意匠部会との研究会 (隔月開催)

今年度は、日本弁理士会・意匠部会との連携事業である PDP 内における弁理士会ブースについて前回経験をもとに集客方法と運営を検討。

・委員会ウェブサイトの開設準備、テスト版制作依頼 (情報委員会・塩田委員同席)

・会員向け知財相談窓口「DP ホットライン」の運営 (弁理士・内野委員)

<資格部会> 部会長：横田英夫

プロダクトデザイン (以下、PD と省略) の普及を目指した PD 検定と関連出版事業を実施、デザイナーの資格制度とキャリア構築に関する情報収集を継続中。

・PD 検定事業

受験者数 300 名超えを目標に、講義用の教材や問題集の営業活動を展開。

2018 年度の受験者数 216 名は前年並み、合格者数 137 名 (合格率 63.0%)、講座支援の教材パワポは 1 セット、検定対応の問題集は 148 冊を頒布。直近の目標はほぼクリアー。

・関連出版事業

PD 検定 2 級向けの「PD の基礎」(緑本)を出版して 3 年半、教材本として定着してきており、昨年度は 2000 冊を増刷し合計 6000 冊。

「プロダクトデザイン」(赤本)は出版して 9 年半 (7 刷: 1 万 8 千冊)、産業の発展やデザイン業務の变革に対応すべく、内容の見直し、項目の追加・削除など改訂版の出版に向け執筆編集会議を発足。

・2018 年度の課題

デザイン学会展示や JIDA 学校関係会員への案内をするものの市場開拓の難しい状況が続いている。PD 検定の存在を知らしめること、受験者数を増やすための広報や営業の支援が得られないこと。

●教育委員会 担当理事: 黄 ロビン / 委員長: 渡辺 誠

・ADA(Asia Designers Assembly) 国際学生デザインワークショップ

2018/8/20 ~ 8/26 に、韓国・大邱市「慶北デザインセンター (DGDC)」で開催。テーマは「HiSTORY --Our Story is going to be History」。世界遺産の仏国寺や国立慶州博物館、KUP (Korea Upcycle center)、DGDC (大邱慶北デザインセンター) などを見学してから、ワークショップでデザイン提案を展開。参加人数: 日本 (5 校 16 名)、韓国 (19 名)、台湾 (18 名) の学生計 53 名がワークショップに参加。その他、引率者と各国協会関係者延び 17 名 (JIDA から 4 名) も参加。

・(関東地域) 留学生交流会

2018/9/13 に、株式会社フォルムで第 3 回留学生交流会として開催。株式会社フォルムデザイン松本有氏のプレゼンテーションを受けてからデザインの現場を見学し、懇談会を実施。(参加: 9 名)

・(関西地域) 留学生交流会

2019/3/1 に、株式会社ハーズ実験デザイン研究所で第 4 回留学生交流会として開催。村田智明氏の講演をしてからデザイン研究所を見学。その後、懇親会を実施。(参加: 17 名)

●スタンダード委員会 担当理事 平川 真紀 / 委員長 山岡 正司

<セミナー部会> 部会長: 大竹 美知子

セミナー形式で素材・加工やデザインに関する情報を提供することにより、広くデザイナーを支援し、デザインの価値を向上させることを目標としている。

2018 年度の勉強会開催概要

・2018 年 6 月 20 日 第 85 回勉強会 参加者 20 名

「Navitas 社の 3 次元加飾技術とそれによって広がるデザインの可能性」

・2018 年 8 月 23 日 第 86 回勉強会 参加者 26 名

「JSR 株式会社 最終品の量産を可能にする米カーボン社 3D プリンタ (M2) について」

・2018 年 9 月 12 日 第 87 回勉強会 参加者 12 名

「日本ペイント株式会社 メタリックカラー見本帳で初の 109 色！」

塗料のカラーガイド開発とトレンドカラー

・2018 年 10 月 12 日、11 月 12 日 第 88 回、第 89 回 参加者 20 名、参加者 13 名、

「株式会社ケイズデザインラボ『Digital Idea Development』」

3D シミュレーションから広がる新しいデザイン展開の手法、トポロジー (形態) 最適化

「INTER VOXEL SOLUTION ~VOXEL マネジメントで広がるデザインの可能性~」

・2018 年 2 月 14 日 第 90 回勉強会 参加者 23 名

「積水化学工業株式会社 真空成形加工技術とデザインプロセス」

<サンプル部会> 部会長: 金井 宏水

サンプル頒布事業合計収入はほぼ予算通りとなったが、仕入れ費用が予算を大幅に上回ってしまったため、収支はマイナスとなった。

JIDA STANDARD SAMPLES の頒布

・2018 年度の頒布実績 全 70 冊

- 「1」：23冊、「2」：16冊、「3」：7冊、「4A」：9冊、「5」：15冊
- ・その他サンプルの頒布 全18冊
 - 「塚田」：4冊、「アルゴ」：12冊、「パントン」：1冊、「RAL」：1冊
- ・JIDA STANDARD SAMPLES とその他サンプルの仕入れ
 - 「1」：100冊分、「4A」：100冊分、「4B」の一部：100冊分
- ・JIDA STANDARD SAMPLES-4 ニューバージョンの開発

アルミ加工事業者各社とのミーティングを19回開催した。1月31日には「4A」を100冊組み立て、頒布を開始した。「4B」は5月中に完成予定。
- ・KIDS DESIGN TOOLS の頒布

2018年度の頒布実績 全21セット

子どものからだ図鑑：7冊、子どものからだパスデータ集：6冊、2.5Dキッズパーツ：4セット、2Dキッズモデル：2セット、3Dキッズモデル：2セット
- ・展示・発表事業

日本デザイン学会春季大会への出展 6月23日～24日 大阪工業大学

今年度も日本デザイン学会の春季大会に出展し、JIDA STANDARD SAMPLES と KIDS DESIGN TOOLS を展示した。

＜キッズデザイン部会＞ 部会長：久永 文

子どもを対象としたデザインによる社会貢献を目指し、子どもの安全をテーマに傷害事故予防の啓発およびデザインによる解決を目的として研究活動を行なっている。今年度から、シニア層の事故増加の実態データ分析を基に、高齢者層にも広げた研究を始めた。

- ・産総研と消防庁との研究活動

「傷害予防のためのデータ活用に関する検討委員会」として、最近の事故の事例や分析の報告をもとに事故予防に関する共同研究会を行なった。計6回
- ・産業技術総合研究所からの受託事業

産業技術総合研究所が行っている、生活者と企業を結びつけ、社会の問題を解決する取り組みや問題自体を発見するための動画サイトを広く普及させるための教材の制作を行った。3種の冊子を制作し、データを納品した。印刷は産業技術総合研究所が行った。

● デザインミュージアム委員会 担当理事 入江 あずさ / 委員長 谷村 秀

デザインミュージアム委員会には大きく2つの事業があり、ミュージアム事業は今迄に収蔵した製品を、年間を通じて東京、長野、大阪にて巡回展、企画展、常設展を実施。セクション事業は後世に残すべき優れた製品を収集し、デザインの普及啓発活動を行う事を主に、デザイン図録の発行と毎年1月に開催されるAXISギャラリーでの展覧会を開催。今回は20周年の記念事業として今迄に収蔵したコレクションの中より特に時代を反映させた製品10点を選出し特別記念展を開催。

- ・デザインミュージアム in AXIS 常設展

2018年4月～(年3回) 会場：JIDA 事務局内
- ・デザインミュージアム in 信州新町

2018年4月～(年3回：セクション巡回展、企画展、常設展) 会場：ミュゼ蔵2階
- ・デザインミュージアムフェスティバル 第21回

2018年9月1日(土)～2日(日) 場所：長野市信州新町 参加者数：30名
- ・Premium 10 (20周年特別記念展覧会)

2019年1月9日(水)～14日(月) 会場：AXIS ギャラリー 来場者数：約350名

記念フォーラム：柳原 正樹 氏(独立行政法人国立美術館理事長)、デザインラウンドトーク
- ・デザインミュージアム セクション Vol.20 in TOKYO

2019年1月17日(木)～22日(火) 会場：AXIS ギャラリー 来場者数：約500名

参加企業：44社 選定品：48点(ゴールドセクション賞：5点)

Premium 10、DM セレクション合併記念図録：2,700 部

図録配布先：国内 1,300 箇所、海外 25 箇所（主要関係団体、図書館、美術館、学校等）

石橋財団助成金：6,500,000 円（図録制作費として）

デザインフォーラム：（ロマンسカー、TOTO ネオレスト）

- ・デザインミュージアム支援会

デザインミュージアム活動通信及び支援会参加のお願い（年 2 回）

<エリア / ブロック活動>

■東エリア エリア担当理事：佐野 正

●東日本ブロック ブロック長：堀内 智樹

- ・「TASUKI デザイントーク」「JIDA 東日本ブロックセミナーフェス」（運営委員会・ワークショップ研究会）

2018 年 6 月 16 日開催 会場：アクシスギャラリー 参加人数：53 名

ブロック総会に引き続いて行われた「セミナーフェス」は、JIDA 永年会員「阿武興磁」氏を迎えた TASUKI デザイントークを皮切りに、各研究会代表者によるリレー形式で発表が行われた。また、公益社団法人つばめいと「若林悦子」氏には、ものづくり企業と学生をインターンシップで繋ぐ、産学共創を実践する取り組みをご紹介いただいた。

- ・デザインビジネスの情報交換と TASK 交流会（ビジネスデザイン研究会）

（1）研究会開催

2018 年度は TASK 交流会への参加中小企業へのデザイン指導に関する情報交換。

職能委員会が開催する日本弁理会意匠部会との研究会でのデザイン事例報告、意見交換に出席。

研究会メンバー 14 名

（2）荒川区が担当する TASK プロジェクトでの交流会事業への参画。

交流会では中小事業者を対象とした「デザイン開発プロセス」「デザイナーとの契約」「デザインの権利化」などショートレクチャーおよび参加企業へのデザインワークショップ、コンサルテーションを実施。研究会メンバー 14 名

- ・東京インターナショナルギフトショー秋 2018（デザインメーカーズ研究会）

東京インターナショナルギフトショー秋 2018 へ出展参加した

2018 年 9 月 4 日～7 日 東京ビックサイト 出展者：計 9 名

- ・パッケージデザインパビリオン（運営委員会）

隔年で恒例のパッケージパビリオンへ出展参加した。

2018 年 10 月 2 日～5 日 東京ビックサイト 参加人数：30 社（JIDA、JPDA、JAGDA 会員）

- ・NextEcoDesign 展（エコデザイン研究会）

学生のためのエコデザインワークショップとエコデザイン展を開催「NextEcoDesign 展」

2018 年 12 月 6 日～8 日 東京ビックサイト 参加人数：会員 16 名 学生：27 名

- ・「DM セレクション 20 周年記念フォーラム・賀詞交歓会」（運営委員会）

例年、東日本ブロック運営委員が JIDA の賀詞交歓会の企画運営を行ってきたが本年はデザインミュージアム 20 周年記念フォーラムのパーティーとしてミュージアム委員会から受託を受けるカタチで賀詞交歓会の企画運営を行うことになった。

2019 年 1 月 9 日 AXIS ギャラリー ブラッセリー バトゥ 参加人数：120 名（賀詞交歓会 60 名）

- ・「JIDA 塾」（セミナー研究会）

学生、若手デザイナーを中心に一方的な講演会ではなく、双方向のコミュニケーションを主に置き、他大学やデザイナーとの新たな接点を生み出すことも目的としている。過去 3 回実施。

2018 年 8 月 7 日 講師：月岡 正明氏 参加者：8 名 テーマ：「もじ・モジ・文字」

2018 年 11 月 6 日 講師：ウジトモコ氏 参加者：20 名 テーマ：「ロゴデザインの基本」

2018 年 2 月 22 日 講師：岩内康浩氏 参加者：14 名 テーマ：「誰のためのデザイン？」

- ・「デザインビジネスを 10 倍楽しくする方法 2」（独立セミナー研究会）

デザインビジネスを成功させるためには、クライアントと目標を共有すること。デザインだけを業務とするのではなく様々なデータ・予測・市場などの数字も重要で、「デザインにできること」は沢山あることを紐解いていただいたセミナーであった。

2019年3月13日 19時～21時半 場所：JIDA ギャラリー

講師：(株) フォルム 代表取締役 松本有氏 参加人数：13人

- ・「経済産業省関東経済産業局担当官に聞く！」(運営委員会)

2年ぶりに開催した同セミナーは、単なる補助金説明だけではなく、デザイナーが知っておくべき情報を選びすぎり、モノづくりに参考になる内容でお話しいただいた。

講師：経済産業省 関東経済産業局 産業部 産業振興課クリエイティブ・コンテンツ産業室 幸物正晃氏

2019年3月22日 15時30分～17時30分 場所：JIDA ギャラリー 参加人数：20人

- ・カフェスタイルセミナー (ワークショップ研究会)

「IDデザイナーの経験を活かし、世界でモノを売るビジネスを成功」

富士通ゼネラルのデザイナーを経て、台湾でデザイン事務所を開設、その後中国で商品企画、製造までをマネジメントし世界中へ製品を販売する事業に発展し、70歳を過ぎた現在でも尚も活躍を広げている佐藤氏の話聴いた。

2019年3月22日 JIDA ギャラリー 講師：佐藤勝義氏 参加人数：20名

- ・東日本ブロックデー「JIDA 新入会員・学生会員ひとり400秒プレゼンテーション大会」(運営委員会)
毎年恒例のブロックデー。本年はプレゼンテーション大会とした。

2019年3月23日 JIDA ギャラリー 参加人数：11名

●ギャラリー部会 部会長：吉田 晃永

東エリアではJIDA ギャラリー (JIDA デザインミュージアム in AXIS) の管理・運営を行なっているが、2018年度は以下のような展示会等への貸し出しを行った。

- ・プロダクトデザイン分野展示「手の創作と彩り」

2018年6月23日(土)～6月24日(日) 共立女子大学 建築・デザイン学科プロダクトデザイン分野

- ・ミラノサローネ 2018 参加作品展「FICTIONALITY」

2018年10月19日(金)～10月28日(土) YOY / 小野直紀

- ・2018年度卒業制作選抜展「shade CONTACT 2019」

2019年2月21日(木)～2月26日(火) 武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科

- ・モバイル端末「らくらくデザイン展」

2019年3月7日(木)～3月9日(土) 富士通デザイン株式会社

■中エリア エリア担当理事：関本 隆次

●中部ブロック ブロック長：小幡 真也

<研究事業委員会>

地元企業によるデザイン講座など“ものづくり中部”のDNA(原点・価値)を見聞できる活動やイベントを展開、実施。

- ・中部ものづくり見聞(1) MRJ ミュージアム&あいち航空ミュージアム見学会

「モノづくりの愛知から世界の空へ」

2018年5月19日(土) 会場：MRJ ミュージアム、あいち航空ミュージアム 参加者：29名

- ・中部ものづくり見聞(2) 豊田自動織機デザイン講座&Flight of Dreams 見学

「モノづくり愛知を支える機体の下の力持ちのお話し」

2018年11月17日(土) 会場：①セントレア内会議室 ②Flight of Dreams 参加者：43名

- ・名古屋観光ビジネスのデザイン提案

2015年度から本年度で4年間活動し当初目標を達し終了。2020年東京オリンピック・パラリンピックや2027年リニア中央新幹線開業を控え、名古屋は何をなすべきか、観光ビジネスとなるインフラ/プ

ロダクト / サービス等をデザイン的な視点で、現地調査 / 研究 / 議論を重ねた。内容をまとめた冊子を関係行政・協会・団体へ提出、地域産業や文化振興の一助とした。(冊子：A4 サイズ 40P 100 部配布)

2018 年 4 月 27 日～2019 年 2 月 27 日 月 1 回 計 9 回

クリエイティブビジネススペース コード (国際デザインセンタービル 4F) 参加者：延 61 名

<次世代事業委員会>

- ・生交流会：「教えて先輩、就活のこと、ポートフォリオのこと」

若手デザイナー 5 人によるデザイントーク、およびポートフォリオレビュー会

2018 年 11 月 18 日 (日) 会場：クリエイティブビジネススペース コード 参加者：80 名

- ・卒業制作展訪問：卒業制作展を訪問、各校の優秀な作品に JIDA 賞を授与

期 間：2019 年 1 月 26 日 (土)～3 月 3 日 (日)

名古屋学芸大学、名古屋芸術大学、名古屋市立大学、名古屋造形大学、名古屋デザイナー学院、大同大学、

愛知県立芸術大学、名古屋工業大学の計 8 校、参加者延べ 80 名

<JJ-LD 事業委員会>

全体事業概要：Beyond サロン (会員に限らず誰もが参加しやすい勉強会として展開)

4 月定例会 工業デザイン × アートな仕事 ゲスト：川合辰弥氏

5 月定例会 稲波流、火の起こし方 中小零細の企業ほど精緻なデザインが必要！

6 月定例会 「素材のうまみ」Bouillon のデザイン感 ゲスト：Bouillon

8 月定例会 産業機器のデザイン・その 2 ゲスト：米澤俵介氏

9 月定例会 ばねメーカーの自社ブランド展開への挑戦 ゲスト：SPRING SPRING

10 月定例会 デザイン組織におけるチームビルディングを考える ゲスト：白川勝悟氏

12 月定例会 Beyond サロンがえらぶ 2018 グッドデザイン大賞

3 月定例会 JIDA-UX 研究会初会合！に便乗します

参加者：延べ 89 名

<交流事業委員会>

主に会員を集めた交流会の運営

- ・JIDA 中部交流会 in 信州

信州シルクロードの拠点である岡谷蚕糸博物館および、宮坂製糸工場を見学など

2018 年 10 月 6 日 (土)～7 日 (日) 宿泊：郭公山荘、参加者 5 名

- ・デザイン講談・新年会

デザイン講談「カーデザイナーが描くデザイン進化論」江口倫郎氏

2019 年 1 月 26 日 (土) 会場：Modern 和食 KABATO 名駅店、参加者 26 名

<広報委員会>

中部ブロック Web サイトの運営、および Facebook へのイベント予告など

<総務委員会>

年次総会と幹事会の運営、各種団体との連携活動を行う。

- ・幹事会 8 回実施 会場：デザインセンタービル 7F デザインラボ 2

- ・ブロック総会+イベント

2018 年 6 月 16 日 (土)

- ①ブロック総会：2017 年度事業報告及び 2018 年度事業計画の審議・承認

デザインセンタービル 7F デザインラボ 10

- ②イベント：調理器具のデザインを通して「食文化とデザイン」の関係を考える

講 師：川合辰弥氏、岡田心氏 進行：後藤規文氏

実施会場：デザインセンタービル 4F クリエイティブビジネススペース コード 参加者：52 名

運 営：JJ-LD 事業委員会

- ・渉外活動

名古屋市副市長表敬訪問実施：6 月 8 日 (金) 総務委員会 / 勝崎芳雄、伊奈史朗

●北陸ブロック ブロック長：根来貴成

今年度は、地場産業デザインのトレンド発信とデザイン教育トレンド発信を軸に、他団体との連携や内部メンバーの勉強会活動などを充実させることができた。今後も地域やそこで働く人達が魅力的な活動を行えるきっかけ作りの一助を担っていかれたらと思う。

・渉外活動

正会員や賛助会員拡大を目指し、イベント企画や地元関連組織との情報交換会を通して協会活動を啓蒙する。

4/25（水）セーレン株式会社、福井デザインセンター、有限会社山口工芸「hako」を訪問。

・北陸ブロック総会

年間事業計画など情報共有。昼食をとりながら新メンバーを含めて交流会を実施。

6/30（土）、金沢美術工芸大学 附属図書館内 LAVC 室 参加人数：11 名

・北陸ブロックサロン「進化する VR 教育の現場」

8/27（月）、富山大学芸術学部 内田研究室 参加人数：10 名

・女性クリエイター事業

基調講演「自分らしい働き方のみつけ方」

講師：小竹貴子氏 クックパッド株式会社 ブランディング・編集担当本部長
ワークショップ（グラフィックレコーディングによる課題提起）

9/18（火）、金沢大学自然科学系図書館 2F YABU & CAFE 丹 参加人数：19 名

・北陸ブロックサロン

「ポルシェ・デザイナーが語るブランドとデザイン」

講師：山下周一氏 ポルシェ AG エクステリアデザイナー

小泉 巖氏 マツダ株式会社 チーフデザイナー

田中一雄氏 JIDA 理事長、株式会社 GK デザイン機構 代表取締役

内田和美氏 富山大学芸術文化学部 教授

12/1（土）、松魚亭 参加人数：17 名

・デザイン教育トレンド発信

福井工業大学製作見学会

2/9（土）、福井市美術館 アートラボふくい 2 階 参加人数：8 名

富山大学芸術文化学部卒業製作見学会

2/16（土）、高岡市美術館 参加人数：8 名

金沢美術工芸大学卒業製作見学会

2/23（土）、金沢 21 世紀美術館 情報交流会、KKR ホテル金沢 参加人数：約 30 名

・地場産業デザイントレンド発信

3/16（土）、セーレン株式会社 TPF 事業所 研究開発センター

「Viscotecs で拓く新しいファッション」

基調講演：成富史絵氏 マッシュマニア テキスタイルチーフデザイナー

講演後、工場見学を行なった。（参加：43 名）

■西エリア エリア担当理事：弥中 敏和

●関西ブロック ブロック長：竹綱 章浩

<ブロック活動>

・JIDA 関西ブロック運営委員会の開催 計 11 回

・ブロック総会の開催

・「大阪勧業展 2018」への出展とセミナー開催

<広報委員会>

関西ブロック活動の広報全般・センター広報委員会との連携

<デザインミュージアム委員会>

- ・ダイハツ工業デザインセンター見学会
9月28日(金) / ダイハツ工業(株)デザインセンター (池田市)
- ・太陽の塔見学会
3月29日(金) / 万博公園 (吹田市)

<スタンダード委員会>

- ・「草むらのバッタ展」開催
9月10日(月)～9月16日(日)
「コンピューティショナル」、「アルゴリズムモデリング」のツールの代表といえる Rhinoceros プラグイン「GrassHopper」を用いた3D作品展。

<教育委員会>

- ・関西デザイン学生シンポジウム 2018 (KIPA/JCD/JIDA/JID 4 団体共催)
10月13日(土)
- ・教育フォーラム (1回目)
10月26日(金) / テーマ:「不利益とデザイン」
- ・JIDA 関西ブロック学生デザイン賞
テーマ:「不利益 × 食のデザイン」・応募作品数:49点 ・審査会 2019年2月9日(土)
結果 最優秀賞1点 優秀賞2点 入賞5点
- ・教育フォーラム (2回目)
2019年3月8日(金) / テーマ:「不利益と食のデザイン」
JIDA 関西ブロック学生デザイン賞 2018 表彰式・プレゼンテーション
基調講演「不利益の考え方」
講 演:「あなたの暮らしにスタンバイ。(象印 STAN. シリーズのデザイン開発)」

<JIDA サロン委員会>

- JIDA サロンの開催 計2回
2018年8月3日(金)「商品デザインの基礎マーケティング」
2019年1月17日(木)「関西からデザインを発信する」

<職能委員会>

- 知財学習会の開催 (全6回シリーズ)
特許庁の特許情報プラットフォーム「J-PlatPat」を使用した、「特許・実用新案」「意匠」「商標」をテーマにした実践学習シリーズ

<フォーラム委員会>

- ・ango ホテル見学会 (京都)「新しい泊まるカタチのデザイン」
2月24日(日)

●西日本ブロック ブロック長: 弥中 敏和

2018 年度を振り返ると、運営委員 1 名急逝、さらにもう 1 名が高齢を理由に脱会が続くなど、ますますマンパワー不足が加速した年となった。その反動ではないが、規模や集客にこだわらず、話題として面白いことを催事として重ねてゆくことを試みるには収穫多い年と言えるように思える。

- ・メリィホスピタル・メリィデイズ (病院付き住居施設) 見学会
2018年3月8日(木) 広島市安佐南区
- ・ブロック交流サロン「美術とデザインに関する座談会」
2018年3月31日(土) ひろしま美術研究所
- ・広島市文化協会一美術部会作品展参加
2018年5月13日(日)～5/18(金) アステールプラザ市民ギャラリー (広島市中区)

- ・IDA 西日本サロン「酒蔵社中 Powered by JIDA」
2018 年 10 月 25 日（木） いいオフィス広島（広島市中区）
- ・JIDA 西日本サロン「次世代交流会」
2019 年 1 月 30 日（水） ひろしま美術研究所
- ・春の見学会「インディゴブルーの世界」
2019 年 3 月 8 日（金） 広島県福山市のデニム関連企業三社訪問

7. 事務局諸報告

● 対外事項

- ・（公財）石橋財団 西嶋常務理事訪問 DMレクシヨ vol.19 図録進呈
（谷村 DM 委員長・金井事務局長・永田事務局員）（4 月）
- ・パ・ソナリア(株)・碓谷氏来局 i-common 相談
（浅香監事・金井事務局長）（4 月）
- ・日本経済新聞社文化事業局担当部長・松本氏他訪問 江戸のタタキへの出展打合せ
（本田江戸デザイン研究会代表・金井事務局長）（4 月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席
（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（4 月）
- ・経済産業省中小企業庁消費税転嫁対策室・大西氏他来局 消費税に関するヒアリング
（金井事務局長）（5 月）
- ・スクウェア・エニックス・マネージャー マルコ氏訪問
（金井事務局長）（5 月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席
（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（5 月）
- ・（一社）日本デザイン保護協会理事会出席
（田中理事長）（5 月）
- ・シンガポール知財庁・アシスタント・チーフ・インベグティブ 王氏他来局 知財に関するヒアリング
（堀越職能委員長・金井事務局長他）（5 月）
- ・JSR（株）根本執行役員、Carbon 事業推進室澤田安彦室長来局 スタンド 勉強会打合せ
（山岡スタンド 委員長・金井事務局長）（6 月）
- ・ヒューストン大学学生来局 見学・訪問
（木村一男会員・福田哲夫会員）（6 月）
- ・D8 デザイン保護協会出席
（内野職能委員）（6 月）
- ・神奈川県立小田原城北工業高等学校デザイン科 総括教諭・山岸氏他学生来局 見学・訪問
（永田事務局員）（6 月）
- ・凸版印刷（株）情報コミュニケーション事業本部伊藤氏・森部氏来局 デジタルアーカイブ 事業情報交換
（金井事務局長）（6 月）
- ・経済産業省中小企業庁消費税転嫁対策室 調査専門職員 大西氏来局 消費税転嫁説明
（堀越職能委員長他・職能委員会）（6 月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席
（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（7 月）
- ・台湾銘伝大学商品設計学系 副教授・衛氏、助教授・洪氏他及び学生来局
見学・訪問（金井事務局長）（7 月）
- ・（株）カタログハウス チーフ・マネージャー 森川氏来局 講師派遣・デザイン相談
（金井事務局長）（7 月）
- ・D8 デザインミュージアム設立研究委員会出席
（浅香 DM 委員・大縄委 DM 員）（7 月）
- ・D8 運営会議出席
（金井事務局長）（7 月）
- ・マテリアルコネクションオープニングパーティー出席
（金井事務局長）（8 月）
- ・スペイン大使館経済商務部 コマーシャル・アドバイザー・大越氏来局
（金井事務局長）（8 月）
- ・（株）カタログハウス 通販生活商品部 チーフ・マネージャー・森川氏他 2 名来局 デザイナー募集依頼
（金井事務局長）（8 月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席
（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（8 月）
- ・東京デザイナー学院 プログラフデザイン学科長・沈氏他 2 名来局
教育課程編成委員の派遣依頼（金井事務局長）（8 月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席
（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（8 月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席
（浅香 DM 委員）（9 月）
- ・TOKYO PACK2018 開会式・レセプション出席
（佐野東エリア担当理事）（10 月）

- ・積水化学工業（株）環境ライフラインカンパニーシート事業部部長・林氏来局 賛助会員入会の件（金井事務局長）（10月）
- ・玉川衛材（株）製品開発部福祉用具専門相談員・小松氏来局 デザイン外注相談（金井事務局長）（10月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（10月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会・マネジメント部会出席（浅香 DM 委員）（10月）
- ・中小企業診断士・小野澤氏来局 取材対応（金井事務局長）（10月）
- ・スペイン大使館経済商務部カンファレンス出席（金井事務局長）（10月）
- ・「AXIS THE COVER STORIES」出版記念パーティー出席（山田理事他）（11月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会・マネジメント部会出席（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（11月）
- ・東京 2020ライセンシング事務局 伝統工芸品室プロデューサー・鰐目氏来局 デザイン相談（金井事務局長）（11月）
- ・日本空間デザイン賞 2018パーティー出席（田中理事長）（11月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（11月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会・マネジメント部会出席（浅香 DM 委員）（11月）
- ・（公社）日本インテリアデザイナー協会 創立 60 周年記念式典・パーティー出席（田中理事長）（11月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会・マネジメント部会出席（浅香 DM 委員）（11月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（12月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（12月）
- ・（株）Tools C&T ミーティング（平川理事・山田理事・金井事務局長）（1月）
- ・D8 ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会出席（浅香 DM 委員・大縄 DM 委員）（1月）
- ・セミナー「知的生産者の公共超脱に関する法整備連絡協議会出席（吉田職能委員・金井事務局長）（1月）
- ・キッズデザイン協議会福田専務理事来局 キッズデザイン賞公募依頼（金井事務局長）（2月）
- ・D8 運営会議出席（田中理事長・御園副理事長・金井事務局長）（2月）
- ・（公社）日本クラフトデザイン協会 志賀・松田理事他来局 連携検討打合せ（佐野理事・浅香監事・金井事務局長）（2月）
- ・（株）アクシステナント会議出席（金井事務局長）（3月）
- ・中国汽車工程学会造型グループ Wang Xin 氏来局 日中カーデザイン人材育成の件（御園理事・金井事務局長）（3月）
- ・文化庁文化経済・国際課長 清水幹治氏訪問 日本博の件（田中理事長・金井事務局長）（3月）
- ・（株）アクシス朝香社長、石橋氏来局 ギャラリー料金の件（金井事務局長）（3月）

●後援・協賛

- ・「World Interiors Week 2018 in Japan」、（公社）日本インテリアデザイナー協会・（公財）日本デザイン振興会 後援
- ・「富山デザインウェブ 2018」、デザインウェブ開催委員会 後援
- ・「第 25 回全国高等学校デザイン選手権大会」、全国高等学校デザイン選手権大会開催委員会 後援
- ・「LIVING & DESIGN2018」、（一社）L&D 後援
- ・「2019 年秋冬 JAFCA カラートレンドセミナー」、（一社）日本流行色協会 後援
- ・「TOKYO PACK 2018-2018 東京国際包装展」、（公社）日本包装技術協会 協賛
- ・「メゾン・エ・オブ・ジエ 2018パリ『日本のかたち』展及び帰国展」、メゾン・エ・オブ・ジエ 2018パリ展実行委員会 後援
- ・「オートカラーアワード 2018」、（一社）日本流行色協会 後援
- ・「シンポジウム『国際化へのパートナー：香港』」、香港貿易発展局 後援
- ・「JID 創立 60 周年記念事業」、（公社）日本インテリアデザイナー協会 後援
- ・「JCD 連続デザインシンポジウム」、（一社）日本商環境デザイン協会 後援
- ・「s-design/ 店舗・商業空間デザイン展」、（一社）日本能率協会 協賛
- ・「JAPAN SHOP 2019」、日本経済新聞社 協賛
- ・「ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2019」、新潟県燕市物産見本市協会 後援
- ・「レイルウェイデザイナーズ・イベント 2018」、（株）日本工業新聞社 後援

- | | |
|---|----|
| ・「金沢デザイン 2018」、認定 NPO 法人趣都金澤 | 後援 |
| ・「2020 年春夏 JAFCA カラートレンドセミナー」、(一社) 日本流行色協会 | 後援 |
| ・「第 7 回国際インテリアデザイン会議 2019 in バンコク」、(一財) 国際インテリアデザイン協議会 | 後援 |
| ・「World Interiors Week 2019 in Japan」、(公社) 日本インテリアデザイナー協会 | 後援 |
| ・「Japan Home & Building Show2019」、(一社) 能率協会 | 協賛 |
| ・「第 88 回東京インターナショナルギフトショー-秋 2019」、(株) ビジネスガイド社 | 協賛 |

●就任

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| ・(一財) 日本ファッション協会 評議員 | 田中理事長 |
| ・(一社) 日本デザイン保護協会 理事 | 田中理事長 |
| ・(学) 日本教育財団 HAL 東京・大阪・名古屋 教育課程編成委員会委員 | 長谷監事 |
| ・(学) 中込学園 東洋美術学校・デザイン教育課程編成委員会 委員 | 浅香監事 |

2018 年度事業報告の付属明細書（事業報告を補足すべき重要な事項）に記載すべき事項はありません。

貸借対照表

2019年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
[資産の部]			
【流動資産】			
現金預金	18,130,805	12,023,955	6,106,850
未収会費	749,000	760,000	△ 11,000
未収金	463,633	673,697	△ 210,064
商品	1,708,592	1,717,406	△ 8,814
原材料	2,644,748	167,456	2,477,292
貯蔵品	710,220	870,988	△ 160,768
前払金	343,525	412,789	△ 69,264
流動資産合計	24,750,523	16,626,291	8,124,232
【固定資産】			
(基本財産)			
JIDA一般・その他基本財産	8,500,196	9,799,214	△ 1,299,018
基本財産合計	8,500,196	9,799,214	△ 1,299,018
(特定資産)			
周年事業積立資産	3,232,899	2,832,656	400,243
退職金積立預金	627,200	313,600	313,600
特定資産合計	3,860,099	3,146,256	713,843
(その他固定資産)			
設備造作	502,181	592,002	△ 89,821
什器備品	24	25	△ 1
ミュージアム収蔵品	350,580	350,563	17
電話加入権	100,500	100,500	0
敷金	42,480	42,480	0
保証金	6,489,000	6,489,000	0
その他固定資産合計	7,484,765	7,574,570	△ 89,805
固定資産合計	19,845,060	20,520,040	△ 674,980
資産合計	44,595,583	37,146,331	7,449,252
[負債の部]			
【流動負債】			
未払金	8,253,124	4,499,115	3,754,009
前受会費	1,388,000	3,144,000	△ 1,756,000
前受金	2,536,936	0	2,536,936
預り金	113,982	216,684	△ 102,702
未払消費税	532,400	485,400	47,000
流動負債合計	12,824,442	8,345,199	4,479,243
【固定負債】			
退職給付引当金	627,200	313,600	313,600
固定負債合計	627,200	313,600	313,600
負債合計	13,451,642	8,658,799	4,792,843
[正味財産の部]			
【一般正味財産】			
一般正味財産	31,143,941	28,487,532	2,656,409
(うち基本財産への充当額)	(8,500,196)	(9,799,214)	(△ 1,299,018)
(うち特定資産への充当額)	(3,232,899)	(2,832,656)	(400,243)
正味財産合計	31,143,941	28,487,532	2,656,409
負債及び正味財産合計	44,595,583	37,146,331	7,449,252

正味財産増減計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	849,000	450,000	399,000
受取入会金	849,000	450,000	399,000
受取会費	25,403,000	24,860,000	543,000
正会員受取会費	15,420,000	15,225,000	195,000
準会員受取会費	348,000	387,000	△ 39,000
学生会員受取会費	0	30,000	△ 30,000
個人賛助会員受取会費	135,000	0	135,000
賛助会員受取会費	9,500,000	9,218,000	282,000
事業収益	30,212,154	24,633,541	5,578,613
書籍頒布	3,368,843	3,927,280	△ 558,437
検定登録収入・問題使用料	1,296,000	856,440	439,560
展示・セミナー会費収入	11,452,970	12,263,583	△ 810,613
受託事業による収入	12,206,087	5,320,000	6,886,087
その他の活動収入	1,888,254	2,266,238	△ 377,984
受取補助金・寄付金等	7,736,000	6,634,000	1,102,000
受取民間助成金	6,500,000	5,182,000	1,318,000
寄付金	1,236,000	1,452,000	△ 216,000
雑収益	293,175	86,857	206,318
受取利息	1,309	1,276	33
その他収益	291,866	85,581	206,285
経常収益計	64,493,329	56,664,398	7,828,931
(2) 経常費用			
事業費	56,462,961	51,314,085	5,148,876
期首棚卸高	2,755,850	3,201,253	△ 445,403
期末棚卸高	△ 5,063,560	△ 2,755,850	△ 2,307,710
給料手当	8,630,856	8,908,254	△ 277,398
雑給	983,883	1,878,688	△ 894,805
退職給付費用	266,560	266,560	0
法定福利費	1,040,594	1,045,985	△ 5,391
旅費交通費	4,633,262	7,388,281	△ 2,755,019
通信運搬費	1,608,842	1,436,184	172,658
会議費	3,175,838	2,492,250	683,588
印刷製本費	3,074,594	4,611,874	△ 1,537,280
出展料・参加費	4,103,140	726,036	3,377,104
材料費	5,369,646	2,873,128	2,496,518
諸謝金	7,566,405	4,340,918	3,225,487
委託費	6,722,290	3,039,577	3,682,713
什器・備品購入費	207,839	25,798	182,041
事務用品費	398,628	530,419	△ 131,791
水道光熱費	2,002,498	2,043,913	△ 41,415
賃借料	5,753,073	5,718,155	34,918
団体諸会費	791,360	801,630	△ 10,270
租税公課	548,099	614,853	△ 66,754
懇親会費	1,024,208	787,488	236,720
雑費	869,056	1,338,691	△ 469,635
管理費	5,139,976	5,282,238	△ 142,262
給料手当	1,523,092	1,572,045	△ 48,953
雑給	644,472	319,854	324,618
退職給付費用	47,040	47,040	0
法定福利費	183,634	184,586	△ 952
旅費交通費	572,650	913,158	△ 340,508
通信運搬費	157,387	140,496	16,891
設備造作減価償却費	89,821	89,821	0
什器減価償却費	1	1	0
印刷製本費	128,108	192,161	△ 64,053
諸謝金	54,000	87,800	△ 33,800
委託費	137,190	62,032	75,158
什器・備品購入費	39,588	4,914	34,674
事務用品費	64,893	86,347	△ 21,454
水道光熱費	325,988	332,730	△ 6,742
賃借料	1,015,248	1,009,086	6,162
租税公課	3,501	3,927	△ 426
雑費	153,363	236,240	△ 82,877
経常費用計	61,602,937	56,596,323	5,006,614
当期経常増減額	2,890,392	68,075	2,822,317
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
収藏品受贈益	17	21	△ 4
経常外収益計	17	21	△ 4
(2) 経常外費用			
ミュージアム貯藏品除却損	0	23	△ 23
未収会費取立不能分	234,000	300,000	△ 66,000
経常外費用計	234,000	300,023	△ 66,023
当期経常外増減額	△ 233,983	△ 300,002	66,019
当期一般正味財産増減額	2,656,409	△ 231,927	2,888,336
一般正味財産期首残高	28,487,532	28,719,459	△ 231,927
一般正味財産期末残高	31,143,941	28,487,532	2,656,409
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	31,143,941	28,487,532	2,656,409

正味財産増減計算書内訳表

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	424,500	288,660	135,840	849,000
受取入会金	424,500	288,660	135,840	849,000
受取会費	12,701,500	7,717,500	4,984,000	25,403,000
正会員受取会費	7,710,000	4,626,000	3,084,000	15,420,000
準会員受取会費	174,000	174,000	0	348,000
個人賛助会員受取会費	67,500	67,500	0	135,000
賛助会員受取会費	4,750,000	2,850,000	1,900,000	9,500,000
事業収益	29,698,754	513,400	0	30,212,154
書籍頒布	3,368,843	0	0	3,368,843
検定登録収入・問題使用料	1,296,000	0	0	1,296,000
展示・セミナー会費収入	11,452,970	0	0	11,452,970
受託事業による収入	12,206,087	0	0	12,206,087
その他の活動収入	1,374,854	513,400	0	1,888,254
受取補助金・寄付金等	7,736,000	0	0	7,736,000
受取民間助成金	6,500,000	0	0	6,500,000
寄付金	1,236,000	0	0	1,236,000
雑収益	0	0	293,175	293,175
受取利息	0	0	1,309	1,309
その他収益	0	0	291,866	291,866
経常収益計	50,560,754	8,519,560	5,413,015	64,493,329
(2) 経常費用				
事業費	49,828,983	6,633,978		56,462,961
期首棚卸高	2,755,850	0		2,755,850
期末棚卸高	△ 5,063,560	0		△ 5,063,560
給料手当	7,717,001	913,855		8,630,856
雑給	983,883	0		983,883
退職給付費用	238,336	28,224		266,560
法定福利費	930,413	110,181		1,040,594
旅費交通費	4,164,730	468,532		4,633,262
通信運搬費	1,364,018	244,824		1,608,842
会議費	1,683,194	1,492,644		3,175,838
印刷製本費	2,562,162	512,432		3,074,594
出展料・参加費	4,103,140	0		4,103,140
材料費	5,369,646	0		5,369,646
諸謝金	7,566,405	0		7,566,405
委託費	5,967,747	754,543		6,722,290
什器・備品購入費	207,839	0		207,839
事務用品費	329,100	69,528		398,628
水道光熱費	1,816,219	186,279		2,002,498
賃借料	5,211,607	541,466		5,753,073
団体諸会費	601,434	189,926		791,360
租税公課	542,781	5,318		548,099
懇親会費	0	1,024,208		1,024,208
雑費	777,038	92,018		869,056
管理費			5,139,976	5,139,976
給料手当			1,523,092	1,523,092
雑給			644,472	644,472
退職給付費用			47,040	47,040
法定福利費			183,634	183,634
旅費交通費			572,650	572,650
通信運搬費			157,387	157,387
設備造作減価償却費			89,821	89,821
什器減価償却費			1	1
印刷製本費			128,108	128,108
諸謝金			54,000	54,000
委託費			137,190	137,190
什器・備品購入費			39,588	39,588
事務用品費			64,893	64,893
水道光熱費			325,988	325,988
賃借料			1,015,248	1,015,248
租税公課			3,501	3,501
雑費			153,363	153,363
経常費用計	49,828,983	6,633,978	5,139,976	61,602,937
当期経常増減額	731,771	1,885,582	273,039	2,890,392
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
収蔵品受贈益	17	0	0	17
経常外収益計	17	0	0	17
(2) 経常外費用				
ミュージアム貯蔵品除却損	0	0	0	0
未収会費取立不能分	0	0	234,000	234,000
経常外費用計	0	0	234,000	234,000
当期経常外増減額	17	0	△ 234,000	△ 233,983
他会計振替前当期一般正味財産増減額	731,788	1,885,582	39,039	2,656,409
他会計振替額	641,530	△ 641,530	0	0
当期一般正味財産増減額	1,373,318	1,244,052	39,039	2,656,409
一般正味財産期首残高	△ 5,073,365	9,115,966	24,444,931	28,487,532
一般正味財産期末残高	△ 3,700,047	10,360,018	24,483,970	31,143,941
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 3,700,047	10,360,018	24,483,970	31,143,941

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

市場価額のあるものは、時価法を採用している。

満期保有目的の債券は償却原価法（定額法）によっている。

その他のものは原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

材料及び貯蔵品は最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

設備造作については、旧定額法及び定額法を採用している。

什器備品については、旧定額法及び定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
JIDA基金積立預金	9,799,214	982	1,300,000	8,500,196
小 計	9,799,214	982	1,300,000	8,500,196
特定資産				
周年事業積立資産	2,832,656	400,243	0	3,232,899
退職金積立預金	313,600	313,600	0	627,200
小 計	3,146,256	713,843	0	3,860,099
合 計	12,945,470	714,825	1,300,000	12,360,295

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
JIDA基金積立預金	8,500,196	(0)	(8,500,196)	(-)
小 計	8,500,196	(0)	(8,500,196)	(0)
特定資産				
周年事業積立資産	3,232,899	(0)	(3,232,899)	(-)
退職金積立預金	627,200	(0)	(-)	(627,200)
小 計	3,860,099	(0)	(3,232,899)	(627,200)
合 計	12,360,295	(0)	(11,733,095)	(627,200)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
設備造作	1,846,455	1,344,274	502,181
什器備品	9,083,611	9,083,587	24
合 計	10,930,066	10,427,861	502,205

6. 関連当事者との取引の内容

開示すべき取引は該当なし。

7. 引当金の内訳

引当金の内訳は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的 使用	その他	
退職給付引当金	313,600	313,600	0	0	627,200
合 計	313,600	313,600	0	0	627,200

8. その他

(資産除去債務に関する注記)

当法人は事務所に係る不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復義務を有している。

しかし、当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、かつ、将来移転等の予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。

そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

注記に同内容が記載のため省略。

2. 引当金の明細

注記に同内容が記載のため省略。

財産目録

2019年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
【流動資産】				
	現金	手許保管	運転資金	660,374
	預金	普通預金 みずほ銀行六本木支店他	運転資金	8,215,355
		郵便振替 六本木駅前支店	運転資金	9,255,076
	未収会費	平成30年度会費	公益目的事業及び法人の管理運営に係る会費の未収分	749,000
	未収金	平成30年度事業収入	公益目的事業に係る未収分	463,633
	商品	グッズ 帳1～5	公益目的事業の頒布品在庫	1,708,592
	原材料	グッズ 帳仕掛品	公益目的事業の頒布品仕掛品在庫	2,644,748
	貯蔵品	図鑑等	公益目的事業の在庫	710,220
	前払金	平成31年度賃料交通費他	公益目的事業に係る前払金	343,525
流動資産合計				24,750,523
【固定資産】				
(基本財産)				
	JIDA基金積立預金	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の寄附を基本財産として管理	8,500,196
基本財産合計				8,500,196
(特定資産)				
	周年事業積立資産	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の特定資産として管理	3,232,899
	退職金積立預金	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の特定資産として管理	627,200
特定資産合計				3,860,099
(その他固定資産)				
	設備造作	ギャラリー照明設備	公益目的事業及び管理運営に使用	502,181
	什器備品	パソコン、机等	公益目的事業及び管理運営に使用	24
	ミュージアム収蔵品	ミュージアム収蔵品	公益目的事業及び管理運営に使用	350,580
	電話加入権	5回線	公益目的事業及び管理運営に使用	100,500
	敷金	展示スペース	公益目的事業及び管理運営に使用	42,480
	保証金	事務局分	公益目的事業及び管理運営に使用	6,489,000
その他固定資産合計				7,484,765
固定資産合計				19,845,060
資産合計				44,595,583
【流動負債】				
	未払金	平成30年度事業費	公益目的事業及び管理運営に伴う未払い金	8,253,124
	前受会費	平成31年度会費	公益目的事業及び管理運営に係る年会費収入	1,388,000
	前受金	平成31年度事業費	公益目的事業及び管理運営に係る前受金	2,536,936
	預り金	源泉所得税他	公益目的事業及び管理運営に係る預かり金等	113,982
	未払消費税等	平成30年度消費税	公益目的事業及び管理運営に伴う消費税	532,400
流動負債合計				12,824,442
【固定負債】				
	退職給付引当金		退職金の支払いに備えている	627,200
固定負債合計				627,200
負債合計				13,451,642
正味財産				31,143,941

監査報告書

公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会
理事長 田中一雄 殿

2019年5月13日

公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会

監事 長谷高史 
監事 須香 崇 

私たちは、2018年4月1日から2019年3月31日までの第51会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書は事実であると認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。